

4年ぶり
「横山盆踊」

上西だより

～上西校区集落支援員だより～

西之表市地域支援課
上西集落支援員
馬場 信一 編集
連絡先090-9579-3953
上西校区長責任発行

国選択指定無形文化財

横山盆踊

7月9日（日）。午後7時半でもまだ昼間の明るさを残したまま、横山神社境内で『横山盆踊』がしめやかに始まりましました。久しぶりの開催のせいか、50名を超える観客が500年前の室町時代に伝わった伝統芸能に見入っていました。



女踊り



男踊り



舞が進むと空の青みは濃くなり、闇は深くなっていきます。

横山盆踊には静かな流れのなかに先祖の霊を慰める思いを込めています。踊り手自身が精霊でもあるのです。

始まりはあれほど明るかったのに、薄闇が精霊たちの足元の影を濃くし、すべてが闇のなかへ溶けて、舞いは終わるのです。

4年ぶり

「横山盆踊」

上西だより

～上西校区集落支援員だより～

西之表市地域支援課
上西集落支援員
馬場 信一 編集
連絡先090-9579-3953
上西校区長責任発行

「横山盆踊」をフロデュース

電子紙芝居「横山 盆の舞語り」
1828年寛永五年、比志島國隆
と阿久根千代女の悲恋を脚本化

阿久根市出身の
ナレーターは
長野由利子さん

画像PC操作は
塩崎慎太郎さん



横山神社

廃仏毀釈の嵐が吹き荒れた明治初期までは僧が12代続いた満徳寺だった。

写真でふりかえる
パネル展

↑ 女兒が女踊りをする年があった。
↓ 下野敏見先生 平山武章先生
名越不二郎元市長の姿も見える。

↑ 昭和40年代の写真

「横山盆踊」は記録保存すべき
無形文化財だとする国による選択書

巨木や石碑に囲まれた
神社境内で上演

観客は予想上回る人数で…

「横山盆踊」のてびき書
踊りの特徴、歌の解説、
「横山盆の舞語り」の
あらすじが掲載

どのような経緯で「横山盆踊」が
成立したのか知ってもらうために
電子紙芝居「横山 盆の舞語り」を
上映しました。

↑ 先輩たちの熱意が伝わる踊り
が見られます。また、そうそう
たるメンバーを迎えての記念写
真です。